

Chapel News

2008年7月 7

「強さ」

私と平教授のゼミは、地域の心身障がい者施設と合同で宮原駅コンコース緑化活動を実施している。改札を出て西口に向かう通路脇に置かれた花のプランターがそれだ。作業をしていると、駅の利用者から「きれいですね」、「いつもありがとうございます」と声がかかる。うれしい、と同時にちょっと照れくさい。

6月初旬のある日、本学のOさんがその西口階段付近を行ったり来たりしている。どうやら子連れの母親がコンタクトレンズを落としたようだ。なかなか見つからずに恐縮した母親は、「もう結構です」と言っている。しかし、Oさんは「ないと困るでしょう」と、当たり前のように探し続け、ついには見つけ出した。そして、母親が十分な礼を言う間もなく、何事も無かったかのように去っていった。

親切にも勇気がいる。1人の時はなおさらだ。どうしたら心そのままに行動できるのか、思い煩うことも多い。ある人は、10年後、20年後、未来の自分と正面から向き合った時に、今やろうとしていること、あるいは止めようとしていることの意味が見えてくる、と言ってくれた。たしかに、気持ちを行動に移す時、その先にある自分の姿を思い浮かべてみることはとても大切なことだ。しかし、果たして、それだけで本当に自分が信じた道を進むことができるのか？この頃は、こんなことも考える。やはり、そこには誰かに見つめられている自己の発見という契機が不可欠なのではないだろうか、と。Oさんの「強さ」は、1人でも大切だと思ったことを貫く勇気であり、それは優しさの行為者だけでなく、享受者をも強くする。私は、それは、優しさだけでなく、厳しさも伴うまなざしで神様に見つめられている自分を自覚することによって形成された強さだろうと確信している。

(コミュニティ政策学科准教授 大高 研道)

年間聖句

「また、よく言うておく。もしあなたがたのうちのふたりが、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいますわたしの父はそれをかなえて下さるであろう。」 (マタイによる福音書 第18章19節)

三浦綾子作品

読書感想文コンクール

感想文募集中!!



☆最優秀作品(1点)、優秀作品及び佳作(若干)には、図書カードを贈呈します。詳しくは、キリスト教センターにある応募要項をご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしています。

対象作品:三浦綾子の全作品
申込〆切:7月22日(火)
受賞発表:10月下旬

夏のリトリート

日程:8月7日(木)~8月9日(土)

場所:YMCA 東山荘(御殿場)

テーマ:「ライフパートナー ~共に歩む~」

費用:¥11,000(交通費込み)

〆切:7月16日(水)



リトリートとは「修養会」という意味です。聖書を学びながら自分の生き方を振り返るひと時です。

多くの学生・教職員の参加があり、毎年皆が楽しみに待っている会です。聖書の学びにプラスして、人生についての自由な話し合い、先生方との有意義な会話、ゲームやキャンプファイヤー、ティータイムなど、楽しいプログラムが用意されています。

キリスト教を知らない人でも全く心配いりません。どうぞお気軽にご参加下さい。

申し込みは、申し込み用紙に費用を添えてキリスト教センターまで提出して下さい。

定員になり次第申し込みを締め切ります。

